



平成24年9月23日
国際平和協力本部事務局

東ティモール国際平和協力業務の終了について

1. 我が国は、国連東ティモール統合ミッション（UNMIT）に対し、平成22年9月以降、軍事連絡要員として2名の自衛官を派遣してきた。UNMITは、平成24年12月31日をもって終了する予定であり、同年6月末日以降に任期を満了する軍事連絡要員について、国連は交替要員を求めないことを決定している。

UNMITに対し軍事連絡要員として現在派遣されている我が国の東ティモール国際平和協力隊の隊員2名は、本年9月19日をもってUNMITにおける任期を満了し、国連による上記決定を受けて、我が国は交替要員を派遣しないこととした。また、連絡調整要員として同国に派遣されている同隊の隊員1名は9月22日に現地での活動を終え、同月23日の連絡調整要員の帰国をもって、我が国の東ティモール国際平和協力業務は終了した。

＜軍事連絡要員として派遣され、今般帰国した東ティモール国際平和協力隊の隊員＞

隊長	館野 智成	（たての ともなり）	1等陸尉
	中村 陽	（なかむら あきら）	1等陸尉

2. 軍事連絡要員として派遣された隊員2名は、9月20日に現地発、同月21日に本邦到着。

（参考）UNMITへの我が国要員の派遣

我が国は、国連からの要請を受け、UNMITに対し、平成22年9月以降、約半年交替で軍事連絡要員として2名の自衛官を派遣してきた（第4次にわたり延べ8名を派遣）。これら2名の要員のうち、1名はボボナロにおいて、1名はパウカウにおいて、それぞれ担当地域内の国境監視所や村落を訪問し、治安情勢等について聞き取りによる調査を実施し、UNMIT本部（ディリ）へ報告する業務を実施してきた。